

## 第6回国立市南部地域整備基本計画策定市民検討会記録（要旨）

日 時：平成21年8月5日（水）午後7時～午後9時

場 所：くにたち南市民プラザ 多目的ホール

出席委員：20名

欠席委員：30名

傍 聴：なし

事務局：12名

事前配布資料：①第5回南部地域整備基本計画策定市民検討会記録（要旨）

②国立市南部地域整備基本計画策定市民検討会における意見

③南の風トーク～くにたち市民討議会～実施報告書

④まちづくり計画の策定について

当日配布資料：①次第

②地区別グループ表

③事務局名簿

④第6回市民検討会資料

司会進行：事務局（宮崎地域整備課長）

### 1. 開会

### 2. グループ分けについて

地区別の6グループに分かれ検討いただくことを予定していたが、当日の参加者の人数に合わせて4グループとした。

### 3. 配布資料の説明について（村山区画整理係長）

(1) 第5回南部地域整備基本計画策定市民検討会記録（要旨）（事前配布資料①）

何か気がついた点があれば事務局まで連絡下さい。

(2) 国立市南部地域整備基本計画策定市民検討会における意見（事前配布資料②）

前回にいただいたご意見が、前回の「計画の基本方針について」の資料のどの項目に関連したものであるかということでもとめ直したものです。今後、庁内で検討する上で参考とさせていただきます。

(3) 南の風トーク～くにたち市民討議会～実施報告書（事前配布資料③）

今年の2月21、22日に実施した南の風トーク～くにたち市民討議会～の結果を実行委員会で実施報告書としてまとめたものです。参加者は、2月21日が36名、22日が34名で6つのテーマに基づき、グループで話し合いを行っていただきました。話し合いの流れは、題材の情報提供、グループでの話し合い、まとめ、その後投票により賛同できる意見を抽出したものであり、2、3頁に上位3位までと48から53頁にかけては全ての意見が記載されています。

南部地域のこれからを市内全域における課題として捉えた取り組みの一環で行ったものであり、検討する上での参考としていただきたいと思います。

#### (4) まちづくり計画の策定について（事前配布資料④）

人口計画は、国勢調査資料によるコーホート要因法での人口推計との検証の上、庁内で合意されている介護保険事業に関連する将来人口を基本に市の将来人口は19頁のとおりと考えています。19から23頁までは、南部地域での将来人口の想定として、2020年の地区別の将来人口を設定しています。なお、富士見台一、四丁目は増減がない結果となっていますが、これはあくまでも市の将来人口を受けて地区の現状を勘案して設定しているものと理解願います。

土地利用計画は、前回の基本構成図でのゾーン別を基本に、24頁にあるとおりさらに細かく分類したゾーン分けを考えています。

#### (5) 第6回市民検討会資料（当日配布資料④）

話し合いの補足資料として第6回市民検討会資料を用意しました。本日皆さんに検討いただきたい内容を記載していますので、グループでの話し合いを行う際に参考としてください。

質疑応答（特になし）

## 4. 分科会

（主な内容）

### ① グループ（富士見台一、四丁目地区）

#### (1) 人口計画について

富士見台一丁目

- ・現状から考えて人口が増加するとは考えづらいのでこのままという気がする。
- ・JR西府駅が開業したことが人口計画に反映されていないのではないかな。
- ・都市計画道路3・4・5号線や都市計画道路3・3・2号線等の道路の開通で人口が増加するのではないかな。

富士見台四丁目

- ・富士見台四丁目内にあるマンションの戸数と資料の人口数が合わないのではないかな。
- ・生産緑地は動かないのかな。宅地になれば人口が増えるのではないかな。

#### (2) 土地利用計画について

富士見台一丁目

- ・七小の南側等が土地利用出来るのでは。例えば用途を変更する等。

富士見台四丁目

- ・矢川上土地区画整理事業の計画はまだあるのかな。
- ・都市計画道路の整備が実際に進めば、立ち退き等の問題が出てくる。立ち退き等の問題が出てくる前の初期段階で建築物の築造を阻止できないか。行政が先に購入してお

くことができないか。

- ・都市計画道路3・3・15号線の計画の状況を知りたい。関心はあるが情報がない。
- ・建築許可の申請は国立でできないか。
- ・矢川駅商店街の計画は終わったのか。街並みのバランスが悪い。
- ・都市計画道路3・3・15号線は東京女子体育大学内の整備が課題。
- ・矢川保育園北東の道路整備を考えてほしい。
- ・矢川上公園周辺の道路が八王子への車の抜け道となっていて朝と夕方5時から6時頃は危なくて渡れないので、信号を付けてほしい。
- ・矢川北団地自治会とむつみ会は現状のままでは都市計画道路3・3・15号線には反対。

(3) その他

- ・市民検討会が行われていることを市民のほとんどが知らない。こういったPRをしているのか。市民検討会の中身を市民へ知らせ浸透させて次の会を開いてほしい。

②グループ（崖線北側地区西側）

(1) 人口計画について

- ・計画人口が80,000人から74,700人に減少したことにより計画されてきた土地区画整理の中身の見直しが必要ではないか。
- ・市全体では人口が減少している中で南部地域に限り人口が増加しているのは、若い世代にとって移り住みやすいことがあるのではないか。

(2) 土地利用計画について

- ・農地の保全のためには農業従事者を確保すること。農地と住宅地の区画分けを行ってはどうか。また生産緑地の買取ができるような条例等のしくみが必要。
- ・あぜのような自然が崩されることで生態系の崩壊が起こる。連続的な自然を残す必要がある。保全地域を明確に区分けする。
- ・活用されていない土地や土地利用が難しい土地（分断された極小な土地、赤道等）を市は積極的に利用できないか（買取り）
- ・住宅、流通業務共存地は企業誘致を促す。
- ・農地や緑を残すにあたっては公共的な位置付を持たせないと次々に壊されていく。例えば、やすらぎ農園とするなど。

(3) その他

- ・市内で買い物できるSuicaのようなカードやポイントカード等で地域を活性化できるのではないか。

### ③グループ（崖線北側地区東側）

#### (1)人口計画について

- ・人口が伸びる余地がないように思う。
- ・開発行為による戸建てと甲州街道沿道のマンションが建ったことで少し人口が増えた。
- ・崖線南側地区において今後10年間で人口が1000人増加というのは大きな数字と思う。
- ・崖線北側では、自然を残しながら人口が500人増加の推計くらいに落ち着くと思う。
- ・推計人口よりも目標人口を考えるべきだろうと思う。
- ・崖線北側地区で大きな開発は今のところない。

#### (2)土地利用計画について

- ・沿道複合地とはいえ、甲州街道沿いであっても不便な状況。
- ・甲州街道沿道が寂れている。提案として、歩道を拡げて人を呼び込む沿道利用を促し、賑わいを創出する。
- ・甲州街道が持つ魅力を感じられるような沿道を作る。
- ・今残っている第一小学校西側の農地も放っておけばなくなってしまう。保全の具体的なイメージがないのではないか。具体的な提案としては、農業が続けやすい街区を大きく取った土地区画整理や市による農地の買収が考えられる。
- ・生産緑地の中や外周に道路を整備していくには所有者の意向もあって時間がかかっている。
- ・今回のような方針づくりにより計画をつくったら必ず実施していくようにすべき。
- ・谷保駅、矢川駅南口の商業系の位置づけは無理に思える。沿道複合地程度の位置づけでよいのではないか。
- ・準工業地域にホテルが建っているが、何でも建てて良いまちではなく規制の厳しい地域にしていきたい。
- ・天神公園西側、インター入口付近および字一本松の地域も「農地と調和した低層住宅地」として位置付けてほしい。農地がまだ残っている。
- ・青柳の土地区画整理事業完了済みの地区にも生産緑地が残っているのになぜ「住宅、工業共存地」なのか
- ・都市計画道路3・3・15号線は滝乃川学園西側で沿道複合地が途切れているが、現状に合わせて色を欠いていったらつながらないところはもっとある。

#### (3)その他

- ・甲州街道の歩道拡幅については緊急の課題。
- ・都市計画道路3・4・3号線が地域を分断している。
- ・都市計画道路3・4・14号線はどの程度具体的に進んでいるか。

#### ④グループ（崖線南側地区）

##### (1)人口計画について

- ・崖線南側地区の人口の年齢構成はどうなるのか。
- ・泉地区に若い人が引越してきているのでその傾向が続けば、子どもも増え人口も増えていくと思うが、10年後まで続くかと言うとどうかと思う。
- ・人口が増加するということは逆に農地を宅地化することなので農地が減るという残念な面もある。
- ・まちはピークを過ぎると高齢化し、子ども世代は独立して、老夫婦だけが残るという状況になってしまうので、魅力ある良好な住宅地を造って若い家族を呼び込まなければと思う。
- ・人が長く住み続け高齢化しても安心して暮らせるまちづくりをしなければと思う。
- ・人口増加のために人を呼び込むにはどうしたらよいかというビジョンを示してほしい。

##### (2)土地利用計画について

- ・土地利用計画をみると、用途地域だけ決めて、15年間放置し無計画に出来上がった現状のまちに合わせて10種類に色分けしただけの計画に思える。計画的に南部全体をどういうまちにしたいのかというビジョンのない色分けに意見を求められても困る。全体のビジョンを示してほしい。
- ・福祉施設の充実したまちや広い歩道の整備されたまちというようなビジョンを示してほしい。
- ・このままでは狭い道に家が建ち並んでいくことが簡単に想像できる。
- ・府中市は遊歩道が整備されている。今のうちに歩行者のための道路を小学校などを拠点にして計画していくべき。
- ・南部地域は、福祉医療施設の充実や、歩道の広い緑地帯を設けるなどして、北の若い人が老後は南部地域に移り住み、また若い方が北に入ってくるというサイクルを生むようなまちができないか。
- ・病院がない。総合病院は府中市まで行っている。高齢化が進めば病院は必要な施設で広い土地も必要なので計画の中に入れてほしい。
- ・崖線南側の東側はもっと拓けると思っていたが、40年前からあまり整備が進んでいない。人口もあまり増えず、計画性がなく、しまいにはホテルが建ってしまった。
- ・若い人や子どもにとっての住みやすさと高齢者にとっての住みやすさの両方が必要。
- ・南部地域は、魅力があって外から人が集まってくるようなまちではないのではないか。
- ・ママ下湧水や城山は散歩するには良い。自然は一つの魅力なので残してほしい。
- ・国立は企業誘致を本当にする気があるのか。現状でIT関連や研究所など環境的にクリーンな企業は来ないと思う。

- ・整備された道路にスーパーやホームセンター等の商店の進出がほとんどないのは市が規制しているのか。日野バイパスも日野市に入ると商店がたくさんある。迷惑施設以外の規制を緩めて商店の進出を促してほしい。
- ・緑や農地の保全については地権者の理解を得られるようなビジョンを示してほしい。また基金などを利用していかなければ難しいと思う。

(3)その他

- ・もっと地区計画を利用して、住んでいる人の希望を実現するしかないのではないかと思う。
- ・現実的に都市計画道路3・3・15号線より、石田街道を拡げることが優先。
- ・石田街道は今、甲州街道との交差点の南西の角の土地が空いているので、マンションが建つ前に市は今のうちに土地を取得すべき。交差点を拡幅し右折レーンや歩道の拡幅をするだけで大分違うと思う。
- ・石田街道と石神道の整備が優先。現状では交通規制をする必要がある。
- ・都市計画道路3・3・15号線が有効利用されず、石田街道が利用されている。

発表（各グループで、まとめた意見を発表した。）

5. その他

第7回市民検討会は、出席者との協議結果、9月30日（水）午後7時からくにたち南市民プラザ多目的ホールで開催することとなった。

以上